

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(伊東市を考える市民の会)

日時：令和8年8月20日（木）午前9時00分～午前10時00分

場所：市長公室

- ① 伊東市の市政運営方針の大きな転換について
- ② 伊東市ガーデンシティ都市構想案について
- ③ 国・県等の公共施設誘致について

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(伊東市を考える市民の会)

意 見	
伊東市の市政運営方針の大きな転換について	
市長交代により、既存の総合計画について、市長が考える上位計画に修正し、短期・中期・長期に対応した市政運営計画を市民に提示していくべきである。それにあわせて市議会や市の職員の意識と行動を変えとともに、伊東市の実態や市政運営の実情を市民に公表し、共通の認識を持つことが必要だと考えます。	
回 答	
市政運営の基本となる第五次伊東市総合計画は、令和３年度から１０年間の計画期間として策定しており、前期５年の取組状況の基本的な方向性を継承しつつ、従前の基本計画に示した取組に対する評価や目標指標の検証を行う中で、伊東市を取り巻く環境の変化や新たな課題に対応するため、各取組内容を見直し、令和８年度からの５年間のまちづくりの指針となる「第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画」を策定しました。 総合計画は、これまで市民の皆様とともに進めてきた市政運営の基本的な指針として、今後もその考え方を踏まえて各種施策を進めていきます。 また、市長が掲げる政策や重点的に取り組む事項についても、今後の予算編成や具体的な事業の実施などを通じて、市政運営に反映していくとともに、市民の皆様に分かりやすくお伝えし、積極的に発信してまいります。	

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(伊東市を考える市民の会)

意 見
伊東市ガーデンシティ都市構想案について 伊東市全域を都市公園からなる「ガーデンシティ都市構想案」を提案させていただく。人口約5万人を想定した都市づくりに着手し、自然資産を守り、環境を保全する伊東市全域を都市公園とする快適環境の都市整備を目指してほしい。
回 答
ご提案のとおり、伊東市の都市計画においても、豊かな自然環境を守りながら、自然と人が共生するまちづくりは重要であると考えており、現在の都市計画マスタープランにおいても、自然との共生をはじめ、適切な土地利用や施設の配置など、将来の伊東市のあり方について示しています。 伊東市全体を一つの都市公園として捉えるという「ガーデンシティ」の考え方についても、本市が有する自然資産を保全しながら、その価値をさらに高め、まちの魅力や暮らしの質の向上につなげていくという観点から、今後のまちづくりを考える上で参考になるものと考えます。 伊東市としては、まず現在ある自然資産を守り、その価値を磨き上げていくとともに、現在の都市計画マスタープランを基本としながら、自然との共生、土地利用、公共施設のあり方などについて、市民の皆さまと一緒に考え、意見を交わしながら、より魅力的で持続可能なまちづくりにつなげていければと考えています。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(伊東市を考える市民の会)

意 見
国・県等の公共施設誘致について 伊東市の首都圏からのアクセスのしやすさや最適な輸送手段を選択できるという利点を活用し、民間企業の誘致よりも、国・県の出先機関等の誘致に転換することを提案したい。 それにより、新たな雇用を生むとともに、伊東市としての新しい事業創出につながると考えます。
回 答
伊東市の立地や産業を取り巻く状況を踏まえますと、企業誘致に加え、国や県の公共施設等の誘致についても、市の特性や将来のまちづくりを考える上で、一つの可能性として検討していくことは重要であると考えます。 一方で、公共施設の誘致については、国や県の施策・施設配置の方向性など、市だけでは決められない要素も多くありますので、まずは現在市が保有する公共施設や土地などの公共資源について改めて整理・検証し、本市としてどのような機能や施設が必要なのかを見極めていくことが必要だと考えております。 その上で、国や県との情報交換や関係づくりを進め、本市への公共施設等の立地可能性についても情報収集を行いながら、企業誘致を含め、本市の立地特性を生かした効果的な誘致のあり方について慎重に検討してまいります。